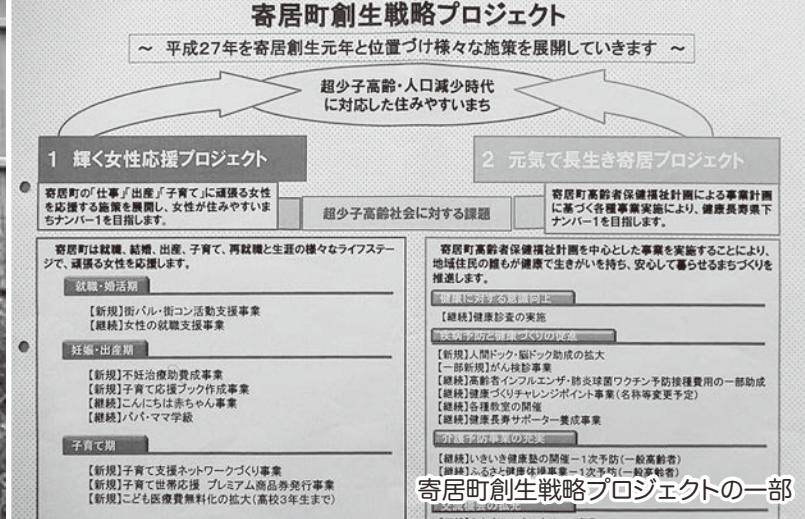




空き家 (イメージ)



4月13日に会議が開催されました

寄居町の今とこれから 一般質問

3月定例会の一般質問には、7名の議員が登壇しました。
質問項目と内容(抜粋)をお知らせします。

この項目について町の考えを聞きました

次のページは「認知症サポーター・ふるさと納税・市街地整備・女性の雇用促進」に関する一般質問

空き家の無料相談会の実施を



答弁⇒国・県の動向を注視し、総合的に検討していきます

問 空き家は全国で820万戸にのぼり、増加の背景には高齢化や人口減少、税法上の問題等が指摘されています。また、老朽化による倒壊などで道路や隣家に危険を及ぼしかねない「空き家への対策」が喫緊の課題であると考えます。そこで、空き家と判断する目安について伺います。

答 国の「空き家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な指針」では、建築物等の使用実績がおおむね1年間ないことが判断基準の1つとなっています。

問 町内において、空き家と思われる件数、また、空き家の多い地域の件数について伺います。

答 25年度の町の調査では、空き家件数は566件で、空き家の多い地域は、男衾地区141件、鉢形地区135件、市街地地区95件となっています。

問 空き家対策の計画策定やデータベース化、無料相談会の実施について伺います。

答 本年5月に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が全面施行されることから現在、国・県の動向を注視し、総合的に検討していきます。

シルバー人材センターを活用しては

問 シルバー人材センターを活用した空き家の見守り強化について伺います。

答 所有者による空き家の適正な管理を促進するため、今後、シルバー人材センターの活用を含めて、研究していきたいと考えています。

寄居町創生戦略プロジェクトの目標は



答弁⇒目指すべき姿勢をスローガンとして表現しました

問 「輝く女性プロジェクト」については、「街バル・街コン活動支援事業」「不妊治療費助成事業」「子育て応援ブック作成事業」「子育て世帯応援プレミアム商品券発行事業」「子ども医療費無料化の拡大(高校3年生まで)」等の新規事業の展開で、女性が住みやすい町ナンバー1を目指すとし予算化しています。実施による成果が大いに期待されます。希望者が多く予算不足が生じたとき、年度内での補正予算を組むなどの考えと、女性が住みやすい町ナンバー1達成は、いつを目標としていますか。

答 予算の段階なので、効果を検証した上で考えていきます。目標達成時期は、プロジェクトを積極的に推進していくために目指すべき姿勢をスローガンとして表現したものです。

健康長寿県下ナンバー1を目指して

問 「元気で長生き寄居プロジェクト」については、「人間ドック・脳ドック助成の拡大」「がん検診事業」の新規事業導入と「疾病予防と健康づくりの促進」等の展開により、健康長寿県下ナンバー1を目指すため予算化しました。実施による効果が大いに期待されます。健康長寿は、県下何位でいつを達成目標としていますか。

答 平成24年の健康寿命は、63市町村中、男性51位、女性33位です。達成目標について、各種事業を積極的に推進する姿勢をスローガンとして表現したものです。

どう進めるのか 中心市街地活性化



答弁⇒平成27年度に最終的な基本計画を策定します

問 中心市街地活性化に対する進捗状況と今後の進め方について伺います。

答 平成26年度には意識の共有化と気運の向上を図る目的でシンポジウムを開催しました。また地域においては「ふるさと寄居商店会」(42事業者)が設立され、地域内でも活性化に向けた歩みが始まりました。さらに本年1月には「中心市街地活性化推進協議会」(会員44名)が設立され、ライブ跡地や駅前拠点づくりの検討が始まりました。27年度は、地域での検討をもとに最終的な基本計画の策定を目指し、地域が主体となる事業などの準備が順調に整えば、駅前拠点については29年頃、都市計画道路中央通り線は30年頃を事業着手の目標としています。

再興と集約化、課題は

問 中心市街地再興と居住・都市機能の集約化を同時に進めていく上での課題と施策について伺います。

答 中心市街地の活性化と居住や都市機能の集約化による町全体のコンパクト化は、持続可能な都市経営の構築に不可欠です。人や土地の流動化の促進や都市機能等の誘導に対する町独自の施策立案に努めていきます。

問 中心市街地活性化推進室設置により、取り組みがどのように変わるのか伺います。

答 専門部署を設置することで、推進体制の強化が図られ、より一層の事業の進捗につながるものと考えています。

市街地活性化

町の姿勢・行政運営

- ・地方創生の柱である産業振興(峯岸議員)
- ・組織の再編(大平議員)
- ・町職員の公正な人事と意欲の高揚(大平議員)
- ・「寄居創生元年」の位置づけと平成27年度事業(大平議員) → P.13
- ・職員の自己申告制度の導入(大久保議員)

まちづくり・暮らし

- ・寄居PAスマートIC周辺の土地利用(峯岸議員)
- ・中心市街地活性化(峯岸議員) → P.12
- ・空き家対策の取り組み(佐藤議員) → P.13
- ・庁舎7階の有効活用の取り組み(佐藤議員)
- ・ふるさと納税による町の活性化(大久保議員) → P.14
- ・中心市街地活性化及び男衾駅周辺のまちづくり(津久井議員) → P.15
- ・水道料金(田母神議員)

福祉・医療

- ・多子世帯への支援対策の取り組み(佐藤議員)
- ・認知症施策推進総合戦略「新オレンジプラン」に伴う町の取り組み(鈴木議員) → P.14
- ・健康づくり推進事業(大久保議員)

女性・子ども

- ・女性の就労推進(鈴木議員)
- ・輝く女性応援プロジェクト及び元気で長生き寄居プロジェクト(津久井議員)
- ・「仕事」「出産」「子育て」に頑張り輝く女性応援プロジェクト創設(田母神議員) → P.15

歴史・文化・教育

- ・小・中学校教職員の人事(峯岸議員)
- ・鉢形城跡保存整備事業(津久井議員)
- ・出張美術館開催事業の内容と経緯(津久井議員)
- ・町の歴史と文化を町民共有の認識にすること(田母神議員)

※1人1項目を要約して掲載。全文は会議録をダウンロードください。会議録は印刷でき次第、町立図書館で読むことができます。

☑ 空き家等対策の推進に関する特別措置法…適切な管理が行われていない空き家等が、生活環境等に影響を及ぼしていることから、空き家対策を推進するための事項を定め、公共の福祉と地域の振興に役立てることを目的として定められました(平成27年2月26日一部施行)。